

学会発表

1	色素希釈曲線法の改善について 日本ME学会大会抄録集 11, 85-86, 1973	青柳卓雄, 堀川宗之, 朝比奈正, 岸道男, 布施政好, 山口一夫
2	イヤピース・オキシメータの改良 日本ME学会大会抄録集 12, 90-91, 1974	青柳卓雄, 岸道男, 山口一夫, 渡辺真一
3	心拍出量の測定におけるイヤピース法の検討 日本ME学会大会抄録集 13, 203-210, 1975	山口一夫, 青柳卓雄
4	指尖プローブによる非観血的循環血液量測定法の臨床応用 臨床モニター 4(suppl-1,2): 46-46, 1993.	飯島毅彦, 巖康秀, 大橋勉, 増田純一, 三川宏, 布施政好, 青柳卓雄
5	胎児酸素飽和度(SpO ₂)測定のための反射型パルスオキシメータの開発とSpO ₂ 値の精度の検討 臨床モニター 4(suppl-1,2): 89-89, 1993.	泉章夫, 佐藤郁夫, 玉田太郎, 青柳卓雄, 関恒雄, 杉浦啓一, 西脇重弘
6	脈波分光法の色素希釈曲線法への応用 臨床モニター 4(suppl-1,2): 45-45, 1993.	青柳卓雄, 布施政好, 金本理夫, 謝承泰, 高田正雄, 宮坂恵子, 宮坂勝之, 飯島毅彦, 三川宏
7	パルスオキシメトリーの原理を応用した色素希釈法による非観血的循環血液量測定法の臨床応用 麻酔 42(増刊): 692-692, 1993.	飯島毅彦, 巖康秀, 大橋勉, 増田純一, 青柳卓雄, 布施政好, 宮坂勝之, 三川宏
8	パルスオキシメトリーの原理による色素希釈曲線の測定 日本臨床生理学会雑誌 23(suppl): 84-85, 1993.	青柳卓雄
9	脈波分光法に基づいた新しいICG濃度測定装置(イヤピース型)についての検討 薬理と治療 22(suppl-1): S-25-S-33, 1994.	比屋根学, 永山和男, 西巻英治, 小野寺早葉子, 平本淳, 古坂明弘, 高橋正明, 中西弘有, 白濱圭吾, 松藤民子, 中田哲也, 横須賀甫, 小笠原久隆, 田中照二, 青柳卓雄
10	測定条件によるSpO ₂ の変化のメカニズムの検討 臨床モニター 6(suppl): 71-71, 1995.	謝承泰, 青柳卓雄, 布施政好, 金本理夫, 高田正雄, 宮坂勝之*
11	パルス法のプローブ装着部位の検討 臨床モニター 6(suppl): 72-72, 1995.	布施政好, 青柳卓雄, 金本理夫, 謝承泰, 小林直樹, 飯島毅彦, 三川宏, 春名優樹, 渡辺泰彦, 公文啓二
12	パルス式色素法における虚血推定法 臨床モニター 6(suppl): 72-72, 1995.	金本理夫, 青柳卓雄, 小林直樹, 布施政好, 謝承泰
13	パルス式色素法による循環血液量の測定精度 臨床モニター 6(suppl): 73-73, 1995.	小林直樹, 平原英昭, 青柳卓雄, 布施政好, 金本理夫, 謝承泰, 保坂栄弘, 春名優樹, 渡辺泰彦, 公文啓二
14	パルス式色素法による血中ICG濃度の観血値対比 臨床モニター 6(suppl): 73-73, 1995.	小林直樹, 平原英昭, 青柳卓雄, 布施政好, 金本理夫, 謝承泰, 保坂栄弘, 春名優樹, 渡辺泰彦, 公文啓二
15	3波長パルス式色素希釈法と3波長パルスオキシメトリ 臨床モニター 6(suppl): 74-74, 1995.	青柳卓雄, 布施政好, 金本理夫, 謝承泰, 小林直樹, 平原英昭, 高田正雄, 宮坂勝之
16	脈波分光法に基づくICG濃度測定装置の検討-フィンガーピース型とイヤピース型の比較- 薬理と治療 23(suppl-3): 637-643, 1995.	比屋根学, 永山和男, 小野寺早葉子, 平本淳, 高橋正明, 古坂明弘, 白濱圭吾, 中西弘有, 中田哲也, 横須賀甫, 小笠原久隆, 田中照二, 青柳卓雄
17	パルスオキシメトリーの性能改善 臨床モニター 7(suppl): 72-72, 1996.	青柳卓雄, 布施政好, 謝承泰, 金本理夫, 富田英行, 小林直樹, 高村義明, 宮坂勝之, 高田正雄, 町田和子.
18	CO-OXIMETERの比較試験: 第72回日本医科器械学会大会予稿集 医科器械学 67(4), 191, 1997-04-01	青柳卓雄
19	パルスオキシメトリにおけるLED波長の変化問題 臨床モニター 8(suppl): 52-52, 1997.	謝承泰, 青柳卓雄, 布施政好, 金本理夫
20	反射式パルスオキシメトリ 臨床モニター 8(suppl): 53-53, 1997.	布施政好, 青柳卓雄, 金本理夫, 謝承泰, 町田和子, 宮坂勝之

21	CO-OXIMETERの比較試験 臨床モニター 8(suppl): 53-53, 1997.	青柳卓雄
22	パルスフォトメトリの生体模擬キュベット 臨床モニター 9(suppl): 45-45, 1998.	謝承泰, 青柳卓雄, 布施政好, 金本理夫, 中川聡, 宮坂勝之
23	Pulse Dye-densitometryの誤差の検討 - 残留ICGと動脈血酸素飽和度の影響 - 臨床モニター 9(suppl): 45-45, 1998.	小林直樹, 平原英昭, 高村義明, 青柳卓雄, 保坂栄弘
24	パルスオキシメトリの体動アーティファクト 臨床モニター 9(suppl): 44-44, 1998.	金本理夫, 青柳卓雄, 布施政好, 謝承泰, Tomas Karlsson
25	小児患者に適したパルス式色素希釈法の開発 (3波長を用いた計測の基礎的検討) 日本小児麻酔学会誌 4(1): 66-66, 1998.	中川聡, 布施政好, 青柳卓雄, 宮坂勝之
26	パルスフォトメトリの多波長化の検討 臨床モニター 10(suppl): 49-49, 1999.	青柳卓雄, 布施政好, 謝承泰, 金本理夫
27	パルス式色素希釈法による心拍出量測定(小児での使用のための試作機による検討) 臨床モニター 10(suppl): 49-49, 1999.	田口信子, 中川聡, 長谷川恵子, 張欽明, 劉冬梅, 今井由美子, 宮坂勝之, 布施政好, 青柳卓雄
28	パルス式色素希釈法による心拍出量の測定とNIRSによる脳血流量の推定 - 超音波血流計との比較 - 臨床モニター 11(suppl): 40-40, 2000.	田口信子, 劉冬梅, 中川聡, 宮坂勝之, 布施政好, 青柳卓雄
29	モニター設計のコンセプト 開発者の立場から(フィロソフィ) 臨床モニター 11(suppl): 25-25, 2000.	青柳卓雄
30	パルスフォトメトリの多波長化のための光学系 臨床モニター 11(suppl): 39-39, 2000.	青柳卓雄, 布施政好
31	光電子工学を応用した糸球体濾過量と体循環(心拍出量, 循環血液量)パラメーター測定装置の開発 西日本泌尿器科 62(suppl): 75-75, 2000.	山本徳則, 森岡政明, 田中啓幹, 藤田喜久, 梶谷文彦, 布施政好, 武田朴, 青柳卓雄
32	パルス式色素希釈法による心拍出量測定 -小児患者への臨床使用- 日本小児麻酔学会誌 7(1): 148-148, 2001.	田口信子, 中川聡, 宮坂勝之, 布施政好, 青柳卓雄
33	Optics of pulse photometer No. 2 Jpn J Med Elec Biol Eng 39(Suppl), 55, 2002	Aoyagi T,
34	糸球体濾過量,心拍出量を非侵襲的短時間同時測定を目的としたPulse dye densitometerの開発 日本泌尿器科学会雑誌 92(2), 230, 2001	山本徳則, 森岡政明, 武田朴, 布施政好, 青柳卓雄, 田中啓幹
35	パルスオキシメトリにおける手上下の影響 臨床モニター 14(suppl): 27-27, 2003.	青柳卓雄, 布施政好, 小林直樹, 鷺川貞二, 宮坂勝之, 中川聡
36	パルスオキシメトリにおける体動アーティファクトの分析 臨床モニター 14(suppl): 27-27, 2003.	青柳卓雄, 布施政好, 小林直樹, 鷺川貞二, 宮坂勝之, 中川聡
37	Analysis of motion artifact of pulse oximetry, Trans Jpn Soc Med Biol Eng 41(Suppl), 421, 2003	Aoyagi T,
38	パルスオキシメトリの誤差要因 臨床モニター 15(suppl): 54-54, 2004.	青柳卓雄, 布施政好, 小林直樹, 中川聡, 宮坂勝之
39	5波長式パルスオキシメトリ 臨床モニター 15(suppl): 55-55, 2004.	青柳卓雄, 布施政好, 小林直樹, 伊藤和正, 中川聡, 宮坂勝之
40	パルスオキシメトリ理論実証のための極低SO ₂ 実験, 日本生体医工学 44(Suppl), 596, 2006	青柳卓雄,
41	Improvement of Pulse Oximetry IAMPOV 2012	Aoyagi T, Miyasaka K.
42	I パルスオキシメトリを改良する 臨床モニター 24(suppl): 23-24, 2013.	青柳卓雄
43	How I Came Across the Idea of Pulse Oximetry IAMPOV 2015	Aoyagi T,
44	Improving Precision of Pulse Oximetry IAMPOV 2015	Aoyagi T, Fuse M, Ueda Y, Fujisaki H, Ito K, Ukawa T, Feiner J, Bickler P, Miyasaka K,